

# 学校教育学専攻在籍院生研究活動状況一覧

2011年1月1日から2011年12月31日までの間に発表されたもので、本人より申告されたもののみを記載した。(※は国外で発表・報告されたもの)

## 《教育内容方法学分野》

小嶋 季輝 (教育工学)

〈論文〉

- ・「学習の客体としての知識，その基本的性質—知識の獲得状況を手がかりとして—」，『筑波大学教育学系論集』（筑波大学教育学系），第35巻，2011年3月，15-26頁
- ・「教授—学習における認知情報処理論の「実装の水準」に関する—考察—リダゲンシー理論の社会情報学的応用—」，『学校教育学研究紀要』（筑波大学大学院人間総合科学研究科学校教育学専攻），第4号，2011年3月，23-39頁

花岡 隆行 (カリキュラム)

〈学会発表〉

- ・「モンテッソーリ教育における教具の意義—系統性に焦点をあてて—」，日本教材学会第23回研究発表大会，東京学芸大学，2011年10月22日

## 《教科教育学分野》

李 有珠 (人文科教育学)

〈論文〉

- ・「韓国の大学における韓国人日本語学習者の漢字学習の実態—質問紙調査の結果から—」，『日語日文学研究』（韓国日語日文学会），第77巻第1号，2011年5月，253-270頁
- ・「漢字文化圏における漢詩教材—現行の中学校国語教科書所収の漢詩教材を

通して一],『人文科教育研究』(人文科教育学会),第38号,2011年8月,91-120頁

〈学会発表〉

- ・「韓国人日本語学習者に対する効果的な漢字語彙指導を目指して—英語語彙教授法を取り入れた漢字教育への応用可能性—」,第51回人文科教育学会大会,筑波大学附属中学校,2011年9月3日

國原 幸一郎 (社会科教育学)

〈学会発表〉

- ・「地図活用能力を育成する地理教育の内容と指導法」,日本地理教育学会,秋田大学,2011年8月21日
- ・「意思決定能力育成の視点から見た地理教育の学習内容と指導法について—地図学習を通して—」,日本社会科教育学会第61回全国研究大会,北海道教育大学札幌校,2011年10月23日

鎌田 公寿 (社会科教育学)

〈研究・調査報告書〉

- ・「伊豆大島で活動した芸術家を扱った地域学習の構想—彫刻家・木村五郎の教材化を通して—」,井田仁康・「社会科教育学演習Ⅰ」調査報告,『地域と教育』(筑波大学博士課程人間総合科学研究科学校教育学専攻),第10号,2011年11月,80頁,68-79頁

〈学会発表〉

- ・「教育目標としての『シティズンシップ』の再検討—ケア論の視点から—」,日本社会科教育学会第61回全国研究大会,北海道教育大学札幌校,2011年10月23日

篠崎 正典 (社会科教育学)

〈論文〉

- ・「文部省教科書局実験学校における社会科単元指導計画の作成—青木誠四郎の社会科教育論を手がかりに—」,『社会科教育研究』(日本社会科教育学会),第112号,2011年3月,38-50頁

#### 〈学会発表〉

- ・「東京第二師範学校男子部附属小学校における社会科単元指導計画の作成—『作業単元』の導入と修正に着目して—」, 日本カリキュラム学会第22回全国大会, 北海道大学, 2011年7月16日
- ・「文部省教科書局実験学校の社会科単元指導計画作成における『作業単元』の導入—東京第二師範学校男子部附属小学校の社会科単元指導計画の作成過程に着目して—」, 日本社会科教育学会第61回全国研究大会, 北海道教育大学, 2011年10月22日

#### 内山 知一 (社会科教育学)

##### 〈論文〉

- ・「米国『国際教育』の推進におけるNPOの役割—『戦略』の社会運動論的考察を通して—」, 『公民教育研究』(日本公民教育学会), Vol. 18, 2011年3月, 1-16頁
- ・「米国における『国際教育』改革の試み—ワシントン州シアトル学区に着目して—」, 『グローバル教育』(日本グローバル教育学会), Vol. 13, 2011年3月, 62-77頁

##### 〈研究・調査報告書〉

- ・「島外の教育資源を活用した社会科の授業構想—利島小中学校を事例として—」, 井田仁康・「社会科教育学演習Ⅰ」調査報告, 『地域と教育』(筑波大学博士課程人間総合科学研究科学校教育学専攻), 第10号, 2011年11月, 80頁, 17-28頁

##### 〈学会発表〉

- ・「米国『国際教育』の構造に関する考察—ワシントン州シアトル学区に焦点を当てて—」, 日本社会科教育学会第61回全国研究大会, 北海道教育大学, 2011年10月23日

#### 梁 炳逸 (社会科教育学)

##### 〈論文〉

- ・「景観の意味づけに基づいた地理的思考の分類」, 『新地理』(日本地理教育学会), 第59巻第2号, 2011年8月, 33-44頁

〈研究・調査報告書〉

- ・「小学校・中学校の子どもにおける空間認識の調査—利島村立利島小中学校の児童及び生徒を対象として—」, 井田仁康・「社会科教育学演習Ⅰ」調査報告, 『地域と教育』(筑波大学博士課程人間総合科学研究科学校教育学専攻), 第10号, 2011年11月, 80頁, 29-42頁

〈学会発表〉

- ・「景観の意味づけにおける地理的思考」, 韓国社会科教育研究学会第42回大会, 韓国ソウル高麗大学, 2011年8月13日

大高 皇 (社会科教育学)

〈研究・調査報告書〉

- ・「小中併設校における小中連携による授業づくり—利島村立利島小中学校を事例として—」, 井田仁康・「社会科教育学演習Ⅰ」調査報告, 『地域と教育』(筑波大学博士課程人間総合科学研究科学校教育学専攻), 第10号, 2011年11月, 80頁, 43-53頁

〈学会発表〉

- ・「ドイツ・バイエルン州の地理教育カリキュラム」, 日本社会科教育学会第61回全国研究大会, 北海道教育大学札幌校, 2011年10月22日

藤井 大亮 (社会科教育学)

〈編著書〉

- ・「米国の歴史学習にみるコミュニティヒストリーへの取り組み」, 岡本智周・田中統治編著, 『共生と希望の教育学』, 2011年7月, 第1版, 筑波大学出版会, 357頁, 318-329頁

〈研究・調査報告書〉

- ・「利島中学校における『利島雑記』の制作と継承—地域学習「私たちの時間」の分析から—」, 井田仁康・「社会科教育学演習Ⅰ」調査報告, 『教育と地域』(筑波大学博士課程人間総合科学研究科学校教育学専攻), 第10号, 2011年11月, 80頁, 54-67頁

〈学会発表〉

- ・「オーラル・ヒストリーを活用した米国の歴史学習」, 日本社会科教育学会第

61回全国研究大会，北海道教育大学札幌校，2011年10月22日

渡會 陽平（数学教育学）

〈論文〉

- ・「小学校算数科における乗除法の問題場面を表す記号表現についての分—G. Vergnaud の概念野理論を枠組みとして—」、『学校教育学研究紀要』（筑波大学大学院人間総合科学研究科学校教育学専攻），第4号，2011年3月，59—79頁

〈学会発表〉

- ※“An Analysis of Symbolic Representations Expressing Situations of Multiplication and Division in Elementary School Mathematics”, Proceedings of the 35th Conference of the International Group for the Psychology of Mathematics Education (PME35), Vol. 1, p. 413, Ankara, Turkey, 10–15 July, 2011.
- ・「小学校算数科における乗法の意味の拡張の指導に関する研究—拡張の必要性の認識についての児童の実態を手がかりに—」，日本数学教育学会第44回数学教育論文発表会，上越教育大学，2011年11月13日

小泉 友香（数学教育学）

〈研究・調査報告書〉

- ・「熟練教師の算数科授業における相互作用の特徴—教師による数学的意味の解釈を手がかりにして—」，平成19年度～平成22年度科学研究費補助金（基盤研究(B)）研究成果報告書『学習者の観点からみた算数・数学科授業に関する国際比較研究』（研究代表者 清水美憲），2011年2月，pp. 71–82.

〈学会発表〉

- ※Koizumi, Y. & Shimizu, Y. “Competent teachers in different cultures: An analysis of teacher’s questioning in the mathematics classrooms in Germany and Japan”, Biennial Conference for the European Association for Research on Learning and Instruction (EARLI 2011), Exeter, United Kingdom, 3 Sep, 2011.
- ※Shimizu, Y. & Koizumi, Y. “An analysis of teacher’s questioning in Japanese mathematics classrooms”, The European Conference on Educational Research (ECER 2011), Berlin, Germany, 13–16 September, 2011.

※Koizumi, Y. & Shimizu, Y. “Teacher competence viewed through the window of teacher questioning practices in selected mathematics classrooms in Germany and Japan”, The European Conference on Educational Research (ECER 2011), Berlin, Germany, 13–16 September, 2011.

・「数学科授業における発問の分析方法に関する一考察」, 日本数学教育学会第44回数学教育論文発表会, 上越教育大学, 2011年11月13日

辻山 洋介 (数学教育学)

〈論文〉

・「学校数学における証明の構想の過程—argumentation を視点として—」, 『筑波大学教育学系論集』(筑波大学教育学系), 第35号, 2011年3月, 41–53頁

〈学会発表〉

※“On the role of looking back at proving processes in school mathematics: focusing on argumentation”, The 7th Congress of the European Society for Research in Mathematics Education (CERME7), Rzeszów, Poland, 10 Feb, 2011. (オンライン版は次の URL に掲載: [http://www.cerme7.univ.rzeszow.pl/WG/1/CERME7\\_WG1\\_Tsujiyama.pdf](http://www.cerme7.univ.rzeszow.pl/WG/1/CERME7_WG1_Tsujiyama.pdf))

・「図の付された証明問題における証明の構想の特徴」, 日本数学教育学会第44回数学教育論文発表会, 上越教育大学, 2011年11月13日

小松 孝太郎 (数学教育学)

〈論文〉

※“How do students generalize a conjecture through proving?: The importance of boundary cases between example and counterexample”, Proceedings of the 35th Conference of the International Group for the Psychology of Mathematics Education (PME35), Vol.3, Ankara, Turkey, 10–15 July, 2011, pp. 89–96.

・「ラカトシュの可謬主義から見た数学的探究とその教育的意義」, 『科学教育研究』(日本科学教育学会), 第35巻第3号, 2011年9月, 272–286頁

石崎 友規 (理科教育学)

〈学会発表〉

- ・「シュワブの科学教育論における『ディスカッション』の意義—探究の多様性との関連から—」, 日本理科教育学会第61回全国大会, 鳥根大学, 2011年8月20日
- ・「『検証可能な問いの生成』の理解を目指した理科教材—BSCS 生物『探究への招待』を例に一」, 日本教材学会第23回研究発表大会, 東京学芸大学, 2011年10月22日

遠藤 優介 (理科教育学)

〈学会発表〉

- ・「ルールプランにみる現代ドイツ科学教育の目的・目標—化学ルールプランの分析を手がかりにして—」, 日本理科教育学会第61回全国大会, 鳥根大学, 2011年8月21日
- ・「ドイツ化学教育における「コミュニケーション」コンピテンシーの育成—KMK 化学教育スタンダードの教材に焦点を当てて—」, 日本教材学会第23回研究発表大会, 東京学芸大学, 2011年10月22日

山本 容子 (理科教育学)

〈編著書〉

- ・「理科の野外観察」, 大高泉・清水美憲編, 『新・教職教育講座 第6巻 教科教育の理論と授業Ⅱ 理数編』, 2011年12月, 第1版, 協同出版, 309頁, 265-281頁

〈研究・調査報告書〉

- ・「高校での環境倫理教育の実践—身近な植物との一体化体験を中心として—」, 『シンポジウム「環境教育の新たな展開と課題」』, 日本教育学会関東地区活動報告書, 2011年6月, 43頁, 13-20頁

泉 直志 (理科教育学)

〈論文〉

- ・「理科教育におけるアーギュメント導入のための教授方略—IDEAS プロジェ

クトに焦点をあてて一], 『理科教育学研究』(日本理科教育学会), 第52巻第2号, 2011年11月, 11-21頁

〈学会発表〉

- ・「アーギュメント促進のための教授ストラテジーに関する事例的研究—アーギュメントの構成要素を取り入れたワークシートの開発—」, 日本理科教育学会第50回関東支部大会, 横浜国立大学, 2011年12月3日